

【ガラテヤ人への手紙 6章】

「私には、私たちの主イエス・キリストの十字架以外に誇りとす
るものが決してあってはなりません。」

(ガラテヤ6:14a)



TLCCC FRH

天に登録されている長子たちの教会

Church of the Firstborn who are Registered in Heaven

主任牧師:イエス・キリスト

牧師:ダニエル大重

白馬キャンプでも語られていましたが、これからの働きの為、特に「祈りの土台を強くする。」ことの為、8月中旬に夫婦で祈りに行ってきました。

過去を振り返り、神様がどのように私たちを導いてくださったかを、静まって覚える時でもありました。

今日のテキストから、以下のような言葉が心に残りましたが、皆様は如何でしょうか。「御霊の人」「柔和な心」「おのおの自分の行いをよく調べてみなさい。」「互の重荷を負い合い」「負うべき自分自身の重荷がある。」「みことばを教えられる人は、教える人とすべての良いものをわけあう。」「思い違いをしてはいけません。神は侮られるような方ではありません。～」「自分の肉のために蒔く者は、、、御霊のために蒔く者は、、、」「信仰の家族の人たちに善を、、、」「新しい創造」等等

まず第一に、神様の前に静まって、今も私達を見つめ続けておられるキリストの眼差しを見、私達もまたキリストを見ていく時に、神は決して侮られるような方ではないこと。自分の蒔いた種が、そのような事態を招いてきたことに気づくでしょう。 その様な状況から救い出され、どんなに大きな赦しと哀れみを受けてきたかを知る時に、十字架の愛は深く深く迫ってきます。私たちには感謝と賛美があるのみです。

この十字架をおいて他に誇りとするものがあってはなりません。

贖われたものとして神様に感謝し賛美しつつ、神様に語られている事を一つ一つ成してゆきましょう。 いよいよ宣教第2ステージが始まります。共にキリストの体の1肢体として、自分の担うべき分を喜んで果たすことができるように祈ってゆきましょう。

SHILOAM

【シロアム：遣わされた者】

2012.8.19 No.697

今年のみ言葉 歴代誌Ⅱ 20:22

我らが喜びの声、賛美の声をあげ始めたとき、
主は伏兵を設けて～彼らは打ち負かされた。

ヨハネ3:34

「神がお遣わしになった方は、神のことばを話される。
神が御霊を無限に与えられるからである。」



平和の祈り

主の十字架クリスチャンセンター (TLCCC)

The Lord's Cross Christian Center

<http://tlcccfrh.astone-blog.jp/>

* 皆様のお手荷物・貴重品等には十分ご注意ください。

教会内での紛失や盗難等については一切責任を負いかねます。